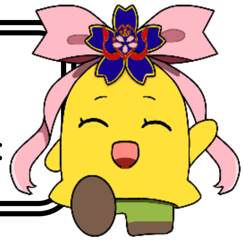
保護者の皆様へ

令和6年5月吉日
あきる野学園よつばの会（PTA）
統括会長 住谷麻子・担当 北村梨沙

るのトーク

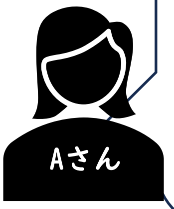
第2回 伴校長先生を囲む会 開催しました



４月１９日（金）・校長室で開催しました

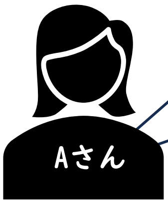
学校の一室をお借りしてオープンする大人のしゃべり場　『るのトーク』
今回はA部門の保護者の方を中心にお集まりいただき、お話していただきました。

今回は『 副籍交流 』について、
保護者の皆さんのお気持ちや経験談を多く聞くことができました。
ＰＴＡの〝Ｔ″にあたる、教員の皆さんにも知っていただきたいと思う内容でした。



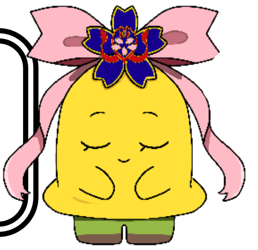
自分が住んでいる地域の子ども達と交流をして、我が子のことを知ってもらいたい。
そういう気持ちはあるのですが、傷つくのではないか…と不安な気持ちがいっぱいで、なかなか一歩が踏み出せません。制度説明の用紙を渡されただけでは、どういったものなのか想像もできず…。実際に交流している方の具体的な話を聞けたり、実施事例を配布してくれると、もう少し気持ちも楽になって挑戦できるかな、と思います。
はじめの一歩に、あきる野学園の担任の先生が一緒に来てくれると心強いと思うのですが…。

あきる野学園としても、副籍交流は積極的にやっていこう、と教員にも話しています。
特に、各自治体の教育委員会へ
「あきる野学園に通っているお子さんも、地域の一員ですよ！」ということを
もっと意識してもらうために、あきる野学園から働きかけを行っていく予定です。
お母さんの不安なお気持ち、教員へも共有していきたいと思っています。距離が近すぎて、担任に言いにくければ、学部主任やコーディネーターの教員も頼って欲しいです。



母親である私自身の気持ちも、担任の先生などに相談してもいいんですか？
〝学校″なので、子どものこと以外のことは話していいのか、迷っていました。

特別支援教育や充実した福祉のおかげで、子どもたち自身の生活はより豊かなものになっています。
しかし、誰もが得られるはずの地域での経験や交流は、ご家族の力だけでは、まだまだ簡単に得られるものではないのかもしれません。



今回の参加者の方は直接交流をしている方が多く、地域の学校の子どもたちの様子を教えてくれました。

私も交流前は不安が多く悩んでいましたが、「母親の気持ちと子どもの気持ちは別のもの」と意識することができてからは、前向きに考えられるようになりました。また、準ずるクラスの同級生の存在が大きくて、きっと地域の子どもたちも優しく接してくれるはずと思えるようになりました。我が子の体調のこともあり、１年目は間接交流のみでしたが、担任の先生と一緒に自己紹介カードを作成したり、子どもにも分かりやすいようにあきる野学園での生活を紹介してくれました。そのおかげもあって、交流前に近所で会った子が「〇〇君じゃない？」と気付いてくれて、ちゃんと伝わっていることが分かって嬉しかったです。直接交流では、担任の先生も来てくれて意思伝達装置を準備してくれました。子ども達からの質問は、見た目や障害のことではなく、本人についての可愛らしい質問ばかりで、子どもにとっては障害の有無は本当に関係ないことが分かりました。交流後は散歩している時に声をかけてくれたり、嬉しいことがたくさん続いています。今年は交流回数を増やしていきたいと思っています。

Bさん

学校に着くと地域の子どもたちが駆け寄ってきてくれて、楽しく交流ができています。
下校時の通学路でも声をかけてくれたり、手紙をくれたり。直接交流では、我が子が得意な音楽の授業を一緒にやりました。楽器の鳴らし方を教えてくれたり、とても楽しい時間を過ごせています。

Cさん

Dさん

地域の学校には幼稚園の時の同級生がいます。我が子の医療的ケアについて、親の代わりに知らない子たちへ説明をしてくれました。とっても楽しく交流しています。

初めましての時は緊張しましたが、地域の子どもたちも緊張していることが伝わってきて、お互い様だなと分かると気が楽になりました。交流中は大人が壁にならないよう、子ども同士の自然な交流ができるよう気を付けています。気心が知れてくると、我が子の障害のことや病気のことを心配してくれて、純粋に人としての優しさを感じることができます。
「あきる野学園ではどんな授業しているのか見てみたい」と言ってくれる子もいます。
私の方が子どもたちに偏見を持っていたんだ、と反省しています。

Eさん

伴校長

「副籍交流を迷っている」、という保護者の方がいるのなら、
学校としてもサポートできるよう、考えていきたいと思っています。

<u>校長室にいた全員が、それぞれの交流内容を聞いて、笑顔がこぼれたり、子ども達の優しさに感動したり。</u>
他の保護者の方の気持ちや経験を聞けて〝自分だけじゃないんだ”と安心しました、という感想もありました。
またその場に校長先生がいてくれることで、学校も一緒に考えてくれているという希望にもつながっています。
地域の子ども達との交流が楽し過ぎるので、あきる野学園の担任の先生にも見てもらいたい、という意見もありました。

<u>立場や役割に関らず、何か悩んでいるご家族がいらっしゃれば、そっとサポートできるよう今後も活動をしていきたいと思います。</u>
<u>ご参加いただきました皆さま、貴重なお話をありがとうございました。</u>　<u>次回の開催は、7月頃を予定しています。</u>